

償還交付運用報告書

損保ジャパン-TCW・MBSオープン（DC年金） Bコース（為替ヘッジなし） 〈愛称〉こむぎ畑（DC年金）

追加型投信／海外／債券

繰上償還

作成対象期間（2016年11月9日～2017年11月2日）

最終期（償還日 2017年11月2日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン-TCW・MBSオープン（DC年金）（Bコース）」は、信託約款の規定に基づき、2017年11月2日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

償還時（2017年11月2日）	
償還価額	12,314円89銭
純資産総額	0百万円
騰落率※	1.6%
期中分配金合計	－円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

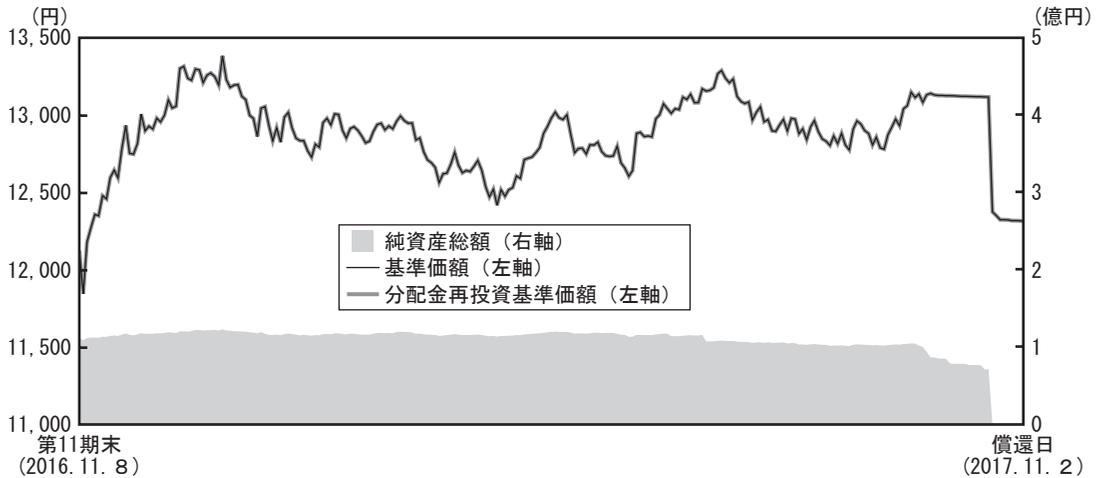
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■基準価額の推移



期首：12,124円

償還時：12,314円89銭（期中分配金合計一円）

騰落率：1.6%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年11月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

（損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし））

投資している損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドが為替要因等により上昇したことがプラスに寄与しました。

（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）（2016年11月9日～2017年11月1日）

期中の騰落率は+9.6%となりました。

円安ドル高が進んだことによる為替要因等が主にプラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

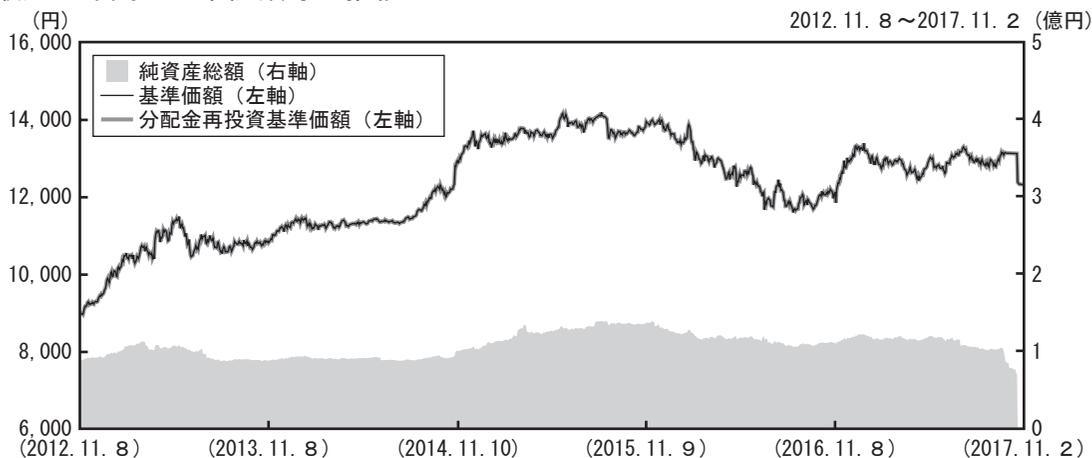
項目	最終期		項目の概要
	(2016年11月9日～2017年11月2日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	172円	1.338%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,885円です。
（投信会社）	（ 96）	（0.744）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 68）	（0.531）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 8）	（0.064）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	11	0.088	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 10）	（0.080）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.007）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	184	1.426	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年11月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日		2012年11月8日 決算日	2013年11月8日 決算日	2014年11月10日 決算日	2015年11月9日 決算日	2016年11月8日 決算日	2017年11月2日 償還時
基準（償還）価額	（円）	9,021	10,814	12,881	13,943	12,124	12,314.89
期中分配金合計（税引前）	（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（％）	—	19.9	19.1	8.2	△ 13.0	1.6
純資産総額	（百万円）	89	88	100	137	111	0

■投資環境（2016年11月9日～2017年11月1日※）

○米国MBS市場

MBS利回りは前期末比で上昇しました。

期初に米大統領選でトランプ氏が勝利を収めたことで、同氏の財政政策による景気拡大期待や物価上昇観測が強まり、MBS利回りは大幅に上昇しました。その後もFRB（米連邦準備理事会）による利上げの決定などから、上昇基調が続きました。

2017年に入り、それまでの大幅上昇の反動や米国の利上げペースが減速するとの観測に加えて、北朝鮮を取り巻く地政学リスクの高まりなどから、MBS利回りは低下基調で推移しました。

9月以降は、FRBによる量的緩和縮小観測が高まったことや、トランプ政権による税制改革期待の高まりを受け、上昇しました。

MBS利回りと米国5年国債利回りの格差は、好調な米国住宅市況等を背景に、前期末比で縮小しました。

○為替市場

為替市場（ドル円）は円安ドル高が進行しました。

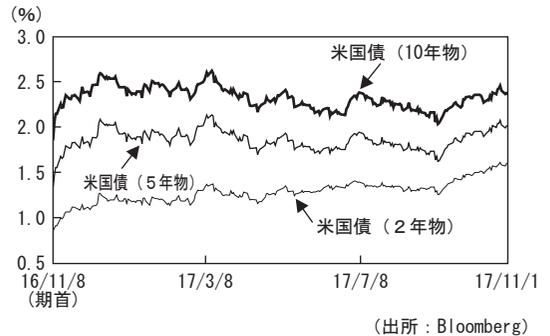
期初は、米大統領選におけるトランプ氏勝利等を背景とした米国金利の上昇に伴い、大きく円安ドル高が進みました。

2017年1月以降は、米国金利が低下傾向にあったことや、北朝鮮を取り巻く地政学リスクが高まる場面では相対的に円が買われたため、円高ドル安基調で推移しました。

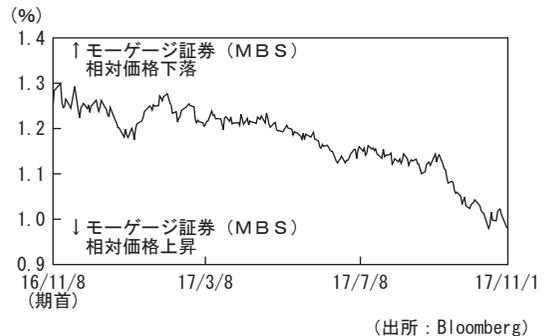
9月以降はFRBによる量的金融緩和縮小観測が高まったことや、トランプ政権による税制改革期待を背景とした米国金利の上昇などから、円安ドル高が進みました。

※マザーファンドへの投資期間における投資環境を記載しています。

米国債利回りの推移

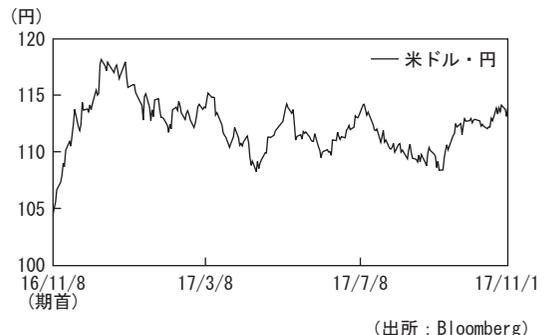


MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デデュレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドの運用については、損保ジャパン－TCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けてキャッシュ化を進めました。

（損保ジャパン－TCW・MBSマザーファンド）（2016年11月9日～2017年11月1日）

当マザーファンドは米国ドルベースで「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」を上回るリターンを獲得を目指しました。当マザーファンドのデュレーションは、「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」のデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としております。デュレーションの推移については、総じてベンチマークに対して短めのデュレーションを維持しました。

その後、当ファンドの償還決定を受けてキャッシュ化を進めました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

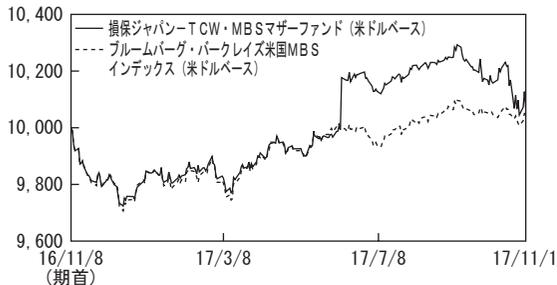
当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

< 損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異 >

当期の損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの米ドルベースの騰落率（2016年11月9日～2017年11月1日）は+0.7%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率+0.5%を上回りました。

MBSの銘柄選択要因等が、プラスに寄与しました。

損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス*（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■分配金

該当事項はありません。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2017年11月2日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

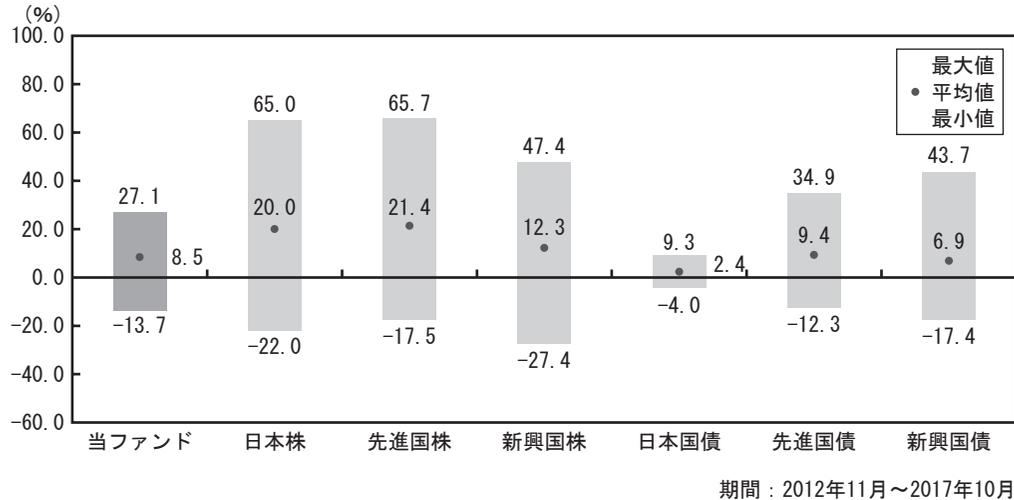
■お知らせ

- 親投資信託の運用上のベンチマークの名称変更にもない、投資信託約款に所要の変更を致しました（2016年12月20日）。
- 信託財産留保額を撤廃するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2017年9月21日）。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2005年9月26日から2017年11月2日まで（当初、無期限）	
運用方針	信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし）	損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド受益証券
	損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	米国ドル建のMBS
運用方法	<p>①高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とします。MBSは、主として住宅ローンを担保に発行された証券です。</p> <p>②実質的な投資対象証券は、米国政府または米国政府系機関保証のもの、またはAA格相当以上の長期格付が付与されている民間発行のものに限ります。また、ポートフォリオの平均格付は高位に維持することを目指し、信用リスクの低減に努めます。</p> <p>③マザーファンドの米国ドルベースの運用は、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。なおマザーファンドの米国ドル建てMBS運用にかかる権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入及び売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

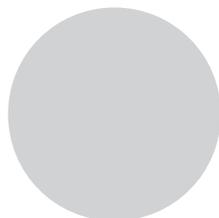
当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

○組入ファンド

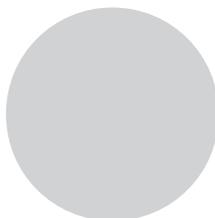
償還時における組入ファンドはありません。

○資産別配分



コール・ローン等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注）比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	償還時
	2017年11月2日
純資産総額	93,885円
受益権総口数	76,237口
1万口当たり償還価額	12,314円89銭

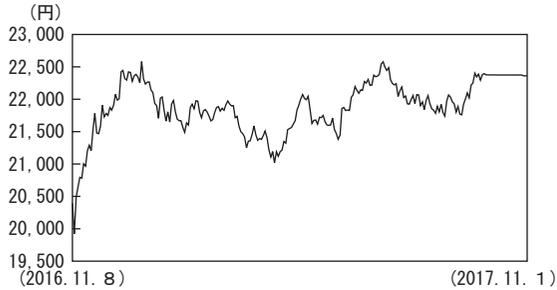
※当期中における追加設定元本額は12,201,897円、同解約元本額は104,481,054円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパン－TCW・MBSマザーファンド>

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

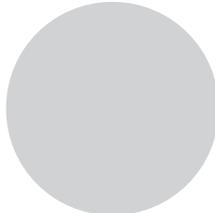
（2016年11月9日～2017年11月1日）

項目	
その他費用 （保管費用）	25円 (25)
（その他）	(0)
合計	25

○組入上位10銘柄

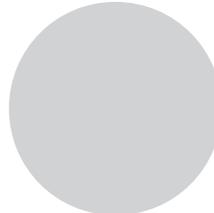
償還時における組入銘柄はありません。

○資産別配分



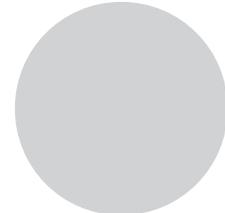
コール・ローン等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

（注3）組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの償還日（2017年11月1日）のものです。

（注4）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 指数に関して

○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント